

TOSHIBA

環境報告書 2025

東芝テリー株式会社

目次

掲載ページ

ごあいさつ	2
1. 事業の概要	3
1)会社概要	
2)製品紹介	
2. 環境マネジメントシステムについて	5
1)環境経営基本方針	
2)ISO14001	
3)環境経営体制	
3. 事業活動での環境配慮	7
1)環境標語	
2)環境負荷	
3)環境目標達成状況	
4)環境教育	
5)異常想定訓練の実施	
6)法令の遵守状況	
7)環境監査・審査	
8)気候変動への対応	
9)循環経済への対応	
10)生態系への配慮	
11)製品における環境配慮	
12)製品含有化学物質管理の取り組み	
4. コミュニケーション	12



SDGs※(持続可能な開発目標)

SDGsとは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール、169のターゲットから構成されています。当社も東芝グループの一員としてSDGsへの取り組みを推進しています。本報告書内に右記のアイコンで示しています。

※SDGs:Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)



・編集方針

この環境報告書は、当社の2024年度の環境活動への取り組みと成果を中心にまとめたものですが、一部それ以前からの取り組みや、直近の活動報告も含んでいます。

・対象範囲

本環境報告書の記載範囲は、当社本社工場における環境保全活動の報告としていますが、一部全国の事業拠点の内容も含んでいます。

映像で未来を見つめ、 通信で社会をつなぐ

代表取締役社長 近藤 浩太郎



平素より東芝テリー株式会社をご支援賜り、誠にありがとうございます。

私たちは、映像技術と通信技術の融合によって、社会の安全・安心・快適を支えるソリューションを提供してまいりました。創業以来、変わらぬ信念は「技術で社会に貢献する」こと。これは、時代がどれほど変化しようとも、私たちの根幹にある価値観です。今後は国内にとどまらず、グローバルな視点での価値提供にも積極的に挑戦してまいります。

現在、社会は急速なデジタル化とグローバル化の波の中にあります。AI、IoT、5G/6G、量子コンピューティングといった革新的な技術が日々進化し、私たちの生活や産業構造を大きく変えつつあります。こうした変化の中で、東芝テリーは「映像×通信×AI」の力を最大限に活かし、よりスマートで持続可能な社会の実現に貢献していく所存です。また、環境負荷の低減やカーボンニュートラルの実現にも貢献すべく、持続可能な技術開発と事業運営を推進してまいります。

私たちは、製品やサービスの品質と信頼性を何よりも重視しています。私たちの強みは、長年培ってきた映像コンポーネントに関する高度な技術力と、現場のニーズに即したソリューション提案力にあります。これからもお客様の声に真摯に耳を傾け、現場に寄り添いながら、社会課題の解決に挑み続けます。今後は、お客様やパートナーの皆さまと共に価値を創造し、社会に新たな可能性をもたらす共創型の取り組みも一層強化してまいります。

また、社員一人ひとりが誇りとやりがいを持って働ける企業風土の醸成にも力を入れてまいります。多様性を尊重し、挑戦を後押しする環境の中で、次世代を担う人材の育成にも注力してまいります。

未来は、私たちの手で創るものです。東芝テリーは、これからも「映像で未来を見つめ、通信で社会をつなぐ」企業として、皆さまと共に歩んでまいります。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

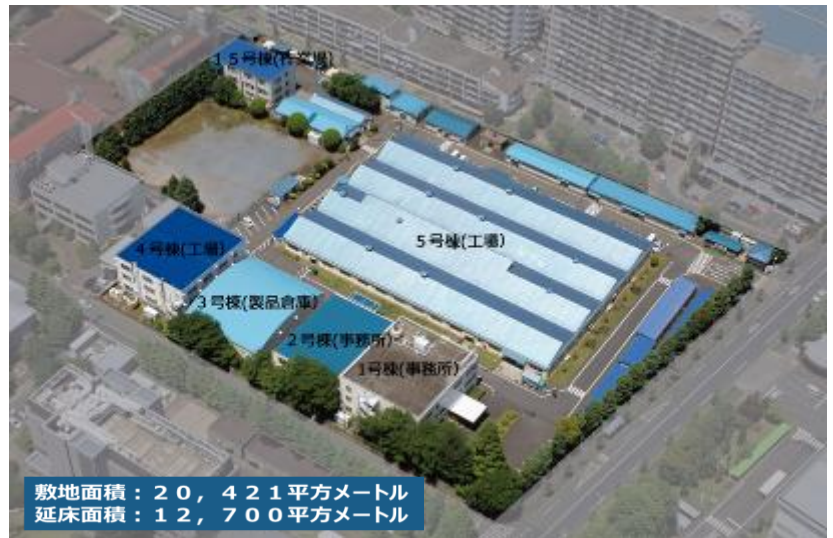
1. 事業の概要

1) 会社概要(2025年4月現在)

- ・所在地……………東京都日野市旭が丘4丁目7番地の1(本社工場)
- ・代表者……………取締役社長 近藤 浩太郎
- ・事業内容……………映像・通信・放送・防災システム、無線ネットワークの設計・製造・エンジニアリング・工事
施工管理・保守サービスに関する業務
産業用エレクトロニクスの開発・製造及び販売に関する業務
- ・設立年月……………2023年10月
- ・役員・従業員数…約450名(各拠点含む)
- ・敷地面積……………20,421㎡(本社工場)

その他の拠点

- 東京事業所 (東京都府中市)
- 東北支店 (宮城県仙台市)
- 中部支店 (愛知県名古屋市)
- 大阪支店 (大阪府大阪市)
- 神戸支店 (兵庫県神戸市)
- 九州支店 (福岡県福岡市)



・拠点紹介



2)製品紹介(当社の主な製品の一部を紹介しています)



産業用高画素デジタルカメラ

CoaXPress、Dual USB3 (当社オリジナル・USB3 を 2 系統搭載)、USB3、GigE (Gigabit Ethernet)、Camera Link の各種インターフェースに対応した産業用デジタルカメラです。

高画素カメラは広視野、高精細な画像の取得が可能で機器組込や外観検査用途に最適です。

低画素カメラは高フレームレート出力を活かし、装置内の位置決め用途などに使用されます。

画素数は 39 万画素(0.4MP)から最大 6,711 万画素(67MP)まで、全 82 機種をラインアップしています。



CoaXPress

37.7MP~67MP



Dual USB3

12.3MP~26.2MP



USB3

0.4MP~24.5MP



GigE

0.4MP~5MP



Camera Link

0.4MP~6.5MP

表面探傷スコープ

表面探傷スコープ SFD230405A は、東芝特許技術を採用した、画像処理を行わずに表面の傷検査「探傷」が可能なスコープです。

光沢のあるフラット面に付いた目視観測や画像識別が困難な微小傷をワンショットで簡単に可視化できます。

2,455 万画素の高画素 USB3 カメラ BU2409MCF を搭載し、微小キズも高精細で撮影が可能です。



SFD230405A

屋外ケース一体型カメラ

水平旋回 360°エンドレス/垂直旋回±100°、光学 30 倍ズーム、高感度センサを搭載した耐環境性に優れた屋外一体型旋回カメラです。

省エネ設計と小型・省資源化設計により、業界トップクラスの消費電力と質量を実現しています。

水平方向：最大 180°/秒、垂直方向：最大 90°/秒の高速旋回と、光学 30 倍電動ズームレンズ、最低被写体照度：0.00035 ルクスの高感度性能により、様々な場所/シーンにおける広範囲な監視を少ないカメラ台数で実現します。



PT2100

2. 環境マネジメントシステムについて

1)環境経営基本方針

東芝テリー株式会社 環境経営基本方針

東芝テリー株式会社は、「人に寄り添い、社会を支える。」をモットーに、映像・通信・放送・防災システム事業で長年培ってきた技術とパートナーシップで、気候変動をはじめとするグローバル共通の課題を解決する製品・サービスを提供し、人々の安全・安心と豊かな社会を支えています。

そして、東芝グループ理念体系における「人と、地球の、明日のために。」の信念のもと、環境への取組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、豊かな価値の創造と地球との共生を図り、持続可能な開発目標であるSDGsの達成に貢献します。

事業と調和させた環境経営を当社グループ一体となって推進します。

- (1) 環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
- (2) 組織の環境側面について環境への影響をライフサイクルの視点で評価し、環境目標を設定します。
- (3) 環境側面に関する法令、当社が同意したその他の要求事項及び自主基準を遵守します。
- (4) 環境負荷の少ない物品や材料を購入するグリーン調達を推進します。
- (5) 積極的な情報開示や社会貢献活動を通じて、ステークホルダーとのコミュニケーションを深めます。
- (6) 環境教育・啓発活動の継続的な実施により、環境意識の向上に努めます。

持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷低減に取り組めます。

(気候変動への対応)

- (1) エネルギーの効率的な利用等により、温室効果ガスを削減します。
- (2) 社会の温室効果ガス排出抑制に貢献する製品・システムおよびソリューションを提供します。
- (3) 防災・減災ビジネスの推進を通じて、気候変動と折り合える適応社会の実現に貢献します。

(循環経済への対応)

- (1) 資源の有限性を認識し、資源の有効活用と廃棄物の発生を抑制します。
- (2) 包装材を含む製品の資源効率性の向上に努めます。

(生態系への配慮)

- (1) 事業活動による生態系への影響を認識し、自然環境や生物多様性の保全に努めます。
- (2) 水資源の有効利用と汚染の予防により、地域環境の保全に努めます。
- (3) 化学物質による汚染の予防、環境リスクの低減に取り組めます。

2025年6月25日
東芝テリー株式会社
取締役社長 近藤 浩太郎

3. 事業活動での環境配慮

1) 環境標語

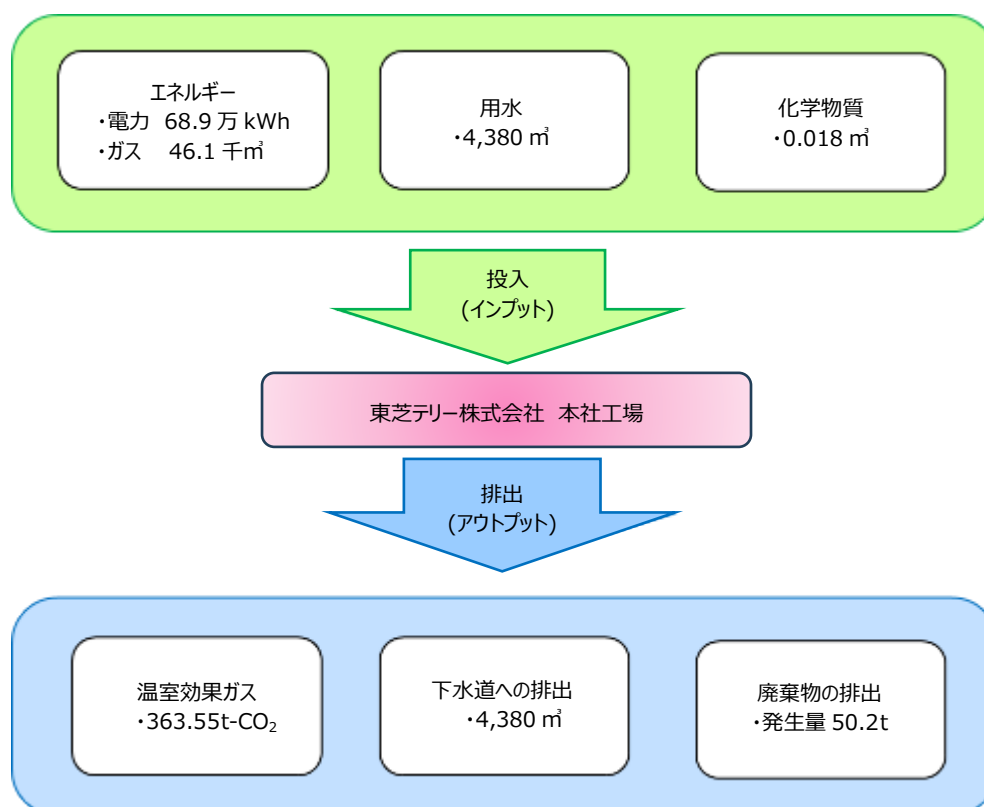
当社は毎年6月の環境月間に併せて従業員より環境標語を募集し、活動標語としています。

2024年環境標語:『未来へつなごう3つのバトン Reduce (削減) Reuse (再利用) Recycle (再生)』

2) 環境負荷

当社の事業活動に伴う環境負荷で主なものは、電力、ガス等のエネルギーの使用、廃棄物の排出、公共用水域への排水、化学物質の使用等があります。これらは継続的な監視・測定によるデータの収集を行っています。水質・騒音・振動は定期的に測定を行い、法規制値・自主基準値と比較し、問題ないことを確認しています。

環境負荷の概要



3) 環境目標達成状況

環境経営基本方針、SDGs、環境影響を考慮して、「環境調和型製品の提供」に関する環境目標を掲げ、活動しています。



カテゴリー	環境目標	実績
環境調和型製品の提供	●SDGs 達成に貢献する ECP 製品創出 1 件/半期 以上 もしくは 2 件/年 以上	2 件/年 目標達成
	●環境調和型製品(ECP)の販売による CO ₂ 排出量 1.6t 削減 (対象機種 : BG040M、BU040M/MG)	3.21t-CO ₂ 目標達成

4) 環境教育

従業員を対象に環境に関する知識と能力を育む教育を実施しています。

教育の種類	対象	時期	受講人数	受講率
新入社員教育	新入社員	2024年4月	10名	100%
環境教育(e-Learning)	全従業員	2024年6月 ~7月	508名	100%
部門教育	全従業員	2024年4月 ~2025年3月	—	100%
廃棄物コンプライアンス教育	産業廃棄物取扱者	2024年8月	87名	100%
環境内部監査員養成教育	新任内部監査員	2024年8月	29名	100%
製品環境法規制教育	製品環境法規制対応者	2025年2月	9名	100%

5) 異常想定訓練の実施

特定作業に従事する従業員に対し異常想定訓練を実施し、事故・緊急事態の発生時に環境への影響を最小限に食い止めるため、適切な行動が取れるよう備えています。製造現場では、容器の転倒による化学物質の漏洩を想定した緊急対応訓練を実施しています。



6) 法令の遵守状況

<排水測定結果> (下水道法：汚水排水測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.7を超え8.7未満	5.8~8.6	8.2	年1回
BOD(mg/L)	300未満	290	58	年1回
SS(mg/L)	300未満	280	18	年1回

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし

<廃棄物の適正管理>

電子マニフェストを利用し、排出した廃棄物が適正に処分されていることを確認しています。

7) 環境監査・審査

環境マネジメントシステムの維持・向上のため、環境に関する監査・審査を受査しています。

・製品環境技術監査(年 1 回実施)

製品におけるリスク管理・遵法の徹底、環境調和型製品・サービスの開発に資することを目的に監査を実施。

・GHG 排出量第三者検証

東芝グループの「GHG 排出量第三者検証」における現地確認を受査しました。



・東芝府中事業所内部監査

東京事業所は、東芝府中事業所の環境内部監査を受査しました。



・内部監査(年 1 回実施)

ISO14001 規格の要求事項に基づく環境マネジメントシステムの運用状況を内部監査により検証しています。

・ISO14001 外部審査

外部認証機関による年 1 回の維持審査と 3 年に一度の更新審査を受査しています。



・環境リスク診断(年 1 回実施)

(株)東芝グループの一員として「環境リスク診断」を運用しています。

リスク低減を図る現場診断と、遵法に関する診断を2025年3月に実施しました。



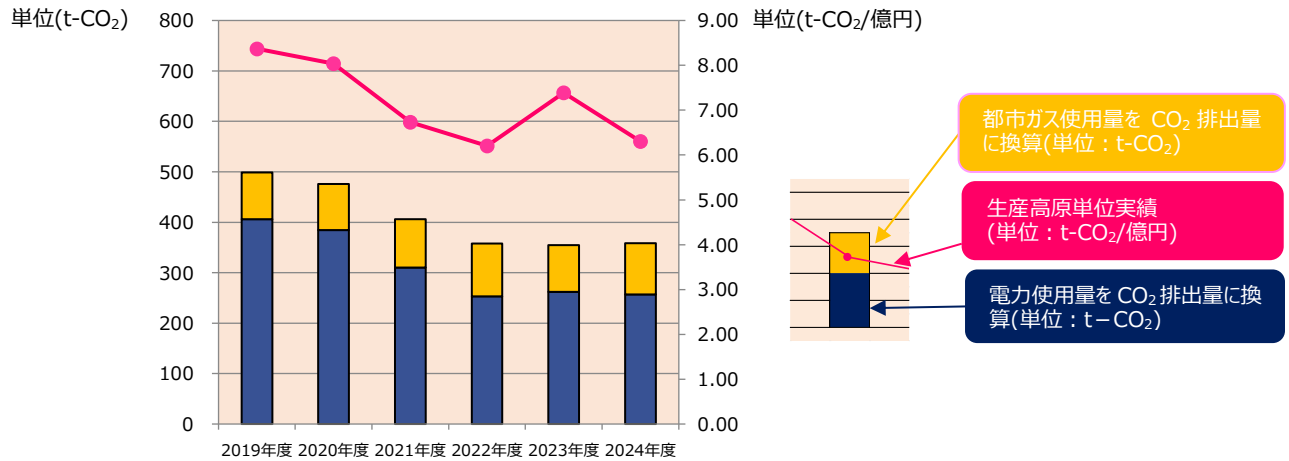
監査・審査の結果

監査・審査の種類	実施時期	対象	結果
製品環境技術監査	2024年8月	本社技術部門	不適合 0件 推奨 0件
内部監査	2024年10月	本社工場	不適合 0件 観察事項 1件 優良事項 10件
ISO14001 外部審査	2024年12月	本社工場	不適合 0件
環境リスク診断	2025年3月	本社工場	軽微なリスク 12件

8) 気候変動への対応(エネルギー使用量の管理)



電力・都市ガスなどのエネルギー使用量は、CO₂の排出量に換算し、生産高原単位で管理しています。猛暑の影響で電気使用量が増加傾向にあります。照明・空調設備等の設備更新を行う際により消費電力の少ない機器を採用しています。



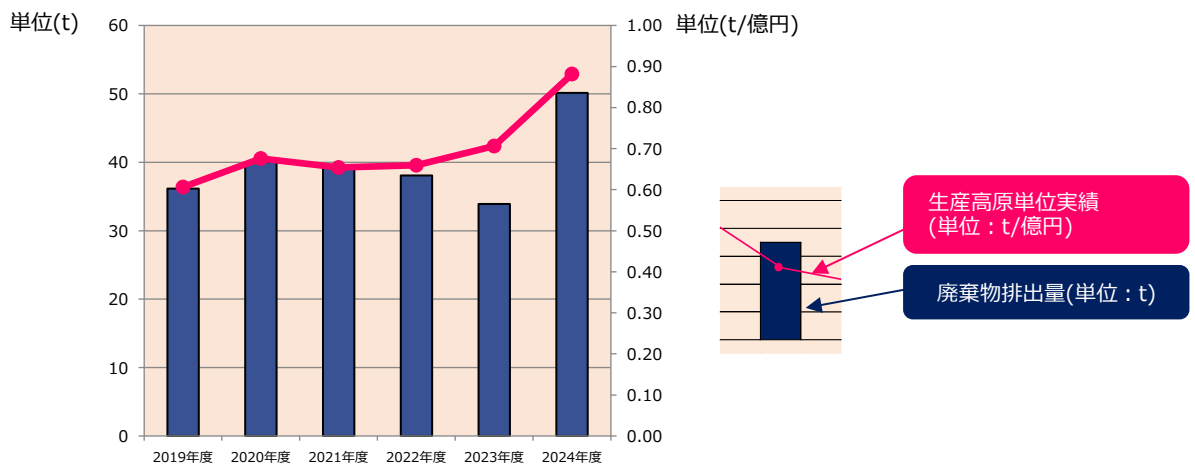
- 省エネ改善事例：照明器具 LED 化 72 台
蛍光灯照明器具を LED 照明器具へ更新。
年間の消費電力を 13,919kWh 削減しました。



9) 循環経済への対応



- ・廃棄物排出量は生産高原単位で管理し、最終処分率を 1%以下にするよう努力しています。
2024 年度は、拠点集約などを行ったことにより廃棄物の排出量は、増加しました。



- ・廃棄物委託先の現地確認
廃棄物処理業者への視察を定期的を実施し、廃棄物が適正に処理されていることを確認しています。



10) 生態系への配慮

当社は、2012年度より東芝グループによる、生物多様性保全の取り組みに参画しています。工場内のスミレの保護や、柑橘類の植樹を行い、蝶を呼び込むことで工場とその周辺地域を結ぶ生態系ネットワークの構築を目指しています。



11) 製品における環境配慮

当社では製品のライフサイクル全体で環境負荷低減を目指しています。2024年度は下記製品を EU RoHS 指令適合製品として上市しました。



■ USB3 カメラ BU シリーズ BU300MG / BU300MCF

BU300M シリーズは、USB 5Gbps(USB3.1 Gen1)規格を採用した一体型 CMOS カメラで、高速で高解像度の画像処理に適し、PC への接続が容易です。3年間の長期保証対応品となっています。



12) 製品含有化学物質管理の取り組み

■ グリーン調達

当社は、東芝グループの一員として、積極的に環境保全を推進している調達取引先様から、環境負荷の小さい製品・部品・材料等を調達するグリーン調達を推進しています。

グリーン調達ガイドラインは、以下のリンクよりご覧いただけます。

<https://www.toshiba-teli.co.jp/company/procure.htm>

■ 製品含有化学物質調査ツール

当社では製品に含まれる化学物質の情報を共有するツールとして、国内における共通フォーマットである chemSHERPA-AI を導入しています。

■ EU RoHS 指令禁止 10 物質への対応

EU RoHS 指令に対応した製品への化学物質含有量の調査及び管理を実施しています。

4. コミュニケーション

当社では、地域社会との共生を目指し、コミュニケーションの向上を図っています。

- 2024 年度も本社工場で夏祭りを開催しました。
近隣住民の方を招待し、たくさんの方にご来場いただきました。



- みやぎスマイルロード・プログラム※に東北支店から 3 名が参加し、宮城県が管理する道路の清掃活動を実施しました。

※みやぎスマイルロード・プログラム：ボランティアで県管理道路の緑化・清掃などの美化や歩道の除雪などを行う団体を「スマイルサポーター」として認定し、地元市町村・県とパートナーシップを組んで道路の“お世話”をする制度



- 「第 51 回多摩川清掃市民運動」(2024 年 4 月 13 日)に東京事業所の社員が参加しました。
東京事業所の所在地である府中市が主催する地域環境活動として、多摩川の清掃に取り組み、地域の皆さまとの交流を深めながら環境保全に貢献しました。

- 工事現場付近の草刈り (2024 年 6 月 17 日 4 名) を実施しました。
弊社が請け負っている工事現場周辺の草刈りを行い、地域の皆さまが安全かつ通行しやすい環境づくりに貢献しました。



- 環境報告書の公開

当社ホームページで環境報告書を公開しています。

<https://www.toshiba-teli.co.jp/company/csr.htm>

